

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	母性看護学概論			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	1 年		1 (20)	講義	令和8年度前期
科目目標 次世代育成の機能を持つ母性の特徴と家族、および母性看護の役割を理解する。					
授業概要 人間の性と生殖の側面から、女性の一生を通じた母性の健康・増進、疾病の予防、リプロダクティブヘルスライツに関する重要な健康問題、次世代の健全育成を目指した母性看護の役割と重要性について学ぶ。この科目は、看護の考え方の基礎を学ぶ。					
卒業時到達目標との関連 DP- ①・②・3・4・5・6・7・8・⑨・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1. 母性看護の基礎となる概念 (1)母性とは (2)母子関係と家族発達 (3)リプロダクティブヘルス/ライツ (4)ヘルスプロモーション (5)エンパワメント (6)ウエルネス	9・10	4	6. リプロダクティブヘルスケア (1)家族計画 (2)不妊治療と看護 (3)DV防止法と看護
2	2	(7)セクシャリティについて (8)母性看護のあり方			筆記テスト
3	2	2. 母性看護の対象理解 (1)生殖器の形態・機能の変化 (2)妊娠と胎児の性分化			
4	2	3. 女性のライフステージ各期における看護（演習） (1)思春期の健康と看護 (2)成熟期の健康と看護			
5	2	(3)更年期の健康と看護 (4)老年期の健康と看護 グループワーク			
6	2	グループワーク発表 まとめ	【テキスト・参考書】 ・母性看護学概論 医学書院 ・母性看護学Ⅰ概論 医歯薬出版 ・セクシュアリティの看護 メヂカルフレンド社 ・助産雑誌 医学書院		
7	2	4. 母性看護における倫理 (1)倫理とは (2)出生前診断について			
8	2	5. 母性看護を取り巻く変遷と現状 (1)母性看護の変遷 (2)母子保健統計 (3)母子看護に対する組織と法律 (4)母子保健施策	評価 ■筆記試験 ■演習		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科 目		母性援助論 I		担当講師	専任講師	
学科名		学 年	単位（時間数）	授業の種類	実 施 時 期	
第二看護学科		1年	1（30）	講義	令和8年度後期	
科目目標						
1 妊娠期における胎児の成長発達、妊婦の身体的・心理的・社会的特性を理解し、健康状態の観察と判断ができる視点を理解する。						
2 妊娠の変化に適応し、正常から逸脱することなく日常生活を送るための援助・分娩や育児への不安を軽減するための援助・親役割取得への援助について理解する。						
3 分娩の経過に伴う産婦の身体的・心理的・社会的変化を理解し、アセスメント及び援助方法について理解する。						
授業概要						
妊婦・産婦の身体的・心理・社会的特徴や援助方法について、妊婦・胎児モデルや妊婦体験モデル、分娩介助モデル、視聴覚教材を使用し理解する。						
妊婦への保健指導として、リーフレットを作成し学生間で指導する。						
卒業時到達目標との関連						
DP- ①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨・10・11・⑫						
・⑥・	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	I 妊娠期の身体的特性 1. 妊娠の生理 2. 胎児の発育と生理		12	2	2. 安全・安楽な分娩への看護
2	2	3. 母体の生理的变化 II 妊娠期の心理・社会的特性		13	2	4. 分娩経過における看護の実際 ①分娩第1～4期の看護
3	2	III妊婦と胎児のアセスメント 1. 妊娠の経過と診断 2. 胎児の発育と健康状態の判断		14	2	X分娩の異常と看護 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、骨産道・娩出力の異常、会陰裂傷、子宮弛緩症等
4	2	3. 妊婦と胎児の健康状態のアセスメント		15	2	XI分娩時の看護【演習】
5	2	IV妊婦と家族の看護 1. 妊婦の保健相談の実際 2. 親になるための準備教育		【参考書】 ・母性看護学 1. 妊娠・分娩、医歯薬出版 ・病気がみえる 10 産科、メディックメディア ・雑誌：ペリネイタルケ、助産雑誌		
6	2	V妊娠の異常と看護 切迫早産、妊娠高血圧症候群、				
7	2	妊娠糖尿病、双胎、妊娠期の感染症等				
8	2	VI妊婦への保健指導 1. 演習 2. 保健指導の実際				
9	2	VII妊婦・産婦の看護技術【演習】 子宮底・腹囲測定、レボルト触診法、胎児心音聴取、妊婦体操				
10	2	VIII分娩の経過 1. 正常分娩の要素と経過 2. 分娩が胎児に及ぼす影響 3. 分娩が母体に及ぼす影響		【成績評価の方法】 ■筆記試験、指導パンフレット		
11	2	IX分娩期における看護 1. 分娩期における産婦・胎児のアセスメント				

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科 目		母性援助論Ⅱ		担当講師	専任教員		
学 科 名	学 年	単位（時間数）	授業の種類	実 施 時 期			
第二看護学科	2 年	1（30）	講義	令和8年度前期			
科目目標							
1 産褥期の身体的・心理的・社会的特性を学び、産褥経過の診断、および褥婦の健康状態の観察とアセスメントについて理解する。							
2 母親役割の獲得や身体変化に伴うニーズへの援助、育児技術の指導、家族関係再構築への看護を理解する。							
3 新生児の身体的特徴と生理的变化について理解し、健康状態のアセスメントができる。							
4 アセスメントに基づき、新生児のニーズを把握して看護を行う視点を理解する。							
5 褥婦・新生児の看護過程をウェルネスの視点で考える。							
授業概要							
産褥期の身体には、妊娠前の状態に戻ろうとする退行性変化と、乳汁を産生する進行性変化という2つの変化が生じている。産褥経過は正常に経過することが多いが、正常から逸脱する可能性もある。産褥期の変化をウェルネスの視点から考えると同時に、異常が潜んでいないかを正確にアセスメントする視点について学習する。また、産褥期は出産を終え、児を迎えた喜びを家族と分かち合い、育児技術を習得しながら児との絆を育んでいく時期である。新生児の身体的特徴や生理的变化をふまえ、母子およびその家族に起こる変化を身体面・心理面・社会面から広く考える視点を授業を通して身につける。							
卒業時到達目標との関連							
DP- 1・2・3・4・⑤・⑥・7・8・9・10・11・12							
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容	
1	2	Ⅰ 産褥期の身体的変化 1. 産褥の定義 2. 子宮復古		10	2	Ⅸ 褥婦の観察と育児技術獲得への支援【演習】 子宮復古・乳房・授乳時の観察、新生児の観察・沐浴等	
2	2	3. 全身の変化 4. 進行性変化		11	2	Ⅹ 新生児期における看護 1. 新生児の生理特徴と機能 2. 新生児の診断と健康状態 ①新生児の診断	
3	2	Ⅱ 産褥期の心理・社会的変化 1. 母親への適応過程 2. 母子相互作用 3. 家族の心理的变化		12	2	②新生児の健康状態のアセスメント	
4	2	Ⅲ 母乳育児支援 1. 母乳育児の意義 2. 授乳時の観察と援助		13	2	3. 新生児の看護 ①出生直後の看護 ②出生直後から退院までの看護	
5	2	Ⅳ 褥婦のアセスメント 1. 褥婦の健康状態のアセスメント 2. 産後に生じる疼痛や不快症状		14	2	Ⅺ 新生児の看護過程の考え方	
6	2	Ⅴ 施設退院後の看護 1. 家族関係再構築への看護 2. 家族計画 3. 地域で育児を支える取り組み		15	2	Ⅻ 新生児の異常と看護 新生児仮死、低出生体重児、分娩外傷、高ビリルビン血症、ビタミン欠乏症等	
7	2	Ⅵ 産褥の異常と看護 1. 帝王切開術後 2. 乳房トラブル 3. 産褥期の発熱		【テキスト・参考書】 ・母性看護学各論、医学書院 ・パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護、照林社 ・病気がみえる10 産科、メディックメディア ・母性看護学Ⅱ 医師薬出版			
8	2	Ⅶ 児を亡くした褥婦・家族の看護					
9	2	Ⅷ 産褥の看護過程 1. 褥婦の看護過程の考え方		【成績評価の方法】 ■ 筆記試験			